

松山大学

一般入学試験

「英語」 受験対策 講座

高松高等予備校 英語科 道久雅昭

• • • | 本講座の目標

- 松山大入試英語の傾向を知ること
- 実際の入試問題に取り組んで、今後の受験勉強のポイントを掴むこと

これら二つが本講座の目標です！

• • • | 偏差値ではなく合格最低点

- 偏差値とはある特定の試験の成績における自分の位置を示す一つの尺度にし過ぎない。
- 松山大の合否を決するのは実際の入試で65~60%取れるかどうか！

• • • | 松山大合格に必要な勉強をする

• 入試結果は必ずしも(偏差値順の)ランキング表通りではない。

• 松山大に現役で合格したいならば、その入試の傾向を熟知し、徹底した対策を行うべき!

• • • | 入試問題の
概要

・・・ | 試験時間と問題数・構成

- ・ 70 分
- ・ 大問数は 3 題，全てマーク式で，総マーク数は 45 個(第 3 問 A で + 5 個)
- ・ 1 長文読解， 2 空所補充(・誤り指摘)
3 語句整序・対話文(・誤り指摘)
- ・ 年度毎に若干の変更あり！(発音など)

・・・ | 難易度と特徴

- ・ 全体的に見て，平易な問題が多く，特別な対策は不要。但し，ある程度，問題慣れしておかないと時間切れになる可能性もある。
- ・ 日程や学部による違いがほとんど見られないので，自分が受験しない日程・学部の問題も練習材料として積極的に活用すべき！

• • • | 設問毎の分析～大問 1

- 約 550 語の長文読解総合(設問数 15)
- 空所補充, 下線部説明, 内容一致(段落毎 / 文章全体) (発音・アクセント)
- 目標解答時間 35 分

• • • | 設問毎の分析～大問 2

- 空所補充(+誤り指摘) (設問数 15)
- 目標解答時間 15 分

••• | 設問毎の分析～大問 3

- A 語句整序[日本語あり](設問数 5)
B 対話文選択(or 誤り指摘)(設問数 5)
- 目標解答時間 20 分

••• | 目標得点率

最低 65%

- 実際の合格最低点はもっと低い場合が多いが、英語は主要科目であるのでやや高めの目標設定とする！
- 当然、個人毎に目標点は異なる！英語が得意な人はもっと高得点を狙うべきだし、そうでなければ他の科目でカバーすることを考える。まずは、自分なりの目標点を考えてみよう！

・・・ | やるべき勉強の内容

- ・ 過去問演習(赤本を解く)
- ・ 単語
- ・ 文法・語法
- ・ 会話
- ・ 長文読解

・・・ | やるべき勉強① 過去問演習 (赤本を解く) [その1]

なるべく数日中に松山大の入試問題1セットを70分で解いてみる。

→出来が悪いのは当たり前！それにめげない！『自分の今の力』と『松山大が要求するレベル』との差を体感することが目的。そこから自分なりの課題と対策が明確になる！

• • • | やるべき勉強① 過去問演習
(赤本を解く) [その2]

- 得点率が60%以上の人

→ 現段階でまずまず学力を持っている。
今後さらにそれに磨きをかければ本番
の入試で65%以上の得点が狙える。
各分野毎の補強練習に加えて、1週間に
1セットは過去問演習を取り入れて
実践力を高めていけばよい。(もちろ
ん、復習にもしっかりと時間をかける)

• • • | やるべき勉強① 過去問演習
(赤本を解く) [その3]

- 得点率が60%未満の人

→ 過半数の現役生がこの状態のはず。
自分の得点率が低い分野に優先的に時
間を割いて弱点補強を心掛ける。制限
時間付きで過去問1セットに取り組む
のは11月初旬まで延期すべき。

・・・ | やるべき勉強② 単語

- 単語はあらゆる分野の土台となる。
- 現役生は学校指定の単語集を繰り返し徹底的に覚える。(あれこれ手を出さない)
- 学校の授業テキストに出てくる単語も貪欲に覚える。
- 共通テスト型模試に出てくる単語も積極的に吸収する。

・・・ | やるべき勉強③ 文法・語法

- 学校指定の問題集(ネクステージ, 即戦ゼミなど)に繰り返し取り組む。
- 整序英作文は単語・文法・語法の知識が充実してくる10月半ば頃から本格的に取り組む。また, その下準備として『英語の構文 150』などの構文系参考書に載っている例文の暗唱(日本語→英語の変換作業)に取り組むのも効果的。

••• | やるべき勉強④ 会話

- 文法・語法対策で用いる問題集には必ず会話表現の項目が含まれているので、それを徹底的に利用して会話特有の表現を完全に身につける。
- 他大学の同種の問題にもチャレンジ。但し、問題レベルを考慮する。

••• | やるべき勉強⑤ 長文読解

- 学校の授業で使用している長文問題集，共通テスト型模試，松山大の過去問が当面の練習材料。
- 1つの長文に対して，制限時間を設けての速読→文構造の細部にまでこだわった精読→音読(最低5回，出来れば10回)という3種類の読み方を連続して行う。全文訳付きのものが望ましい。最初にやった時から10~14日あけて必ず2回目の速読→精読→音読を行う。その際には書き込みをしていないプリントなどを用いる。

••• | やるべき勉強⑥ 長文読解(テクニック)

- 論説・評論文は“One Topic for One Paragraph”の原則に基づいて書かれているので、速読の際にパラグラフ(=段落)毎のトピック(=主題, 要点)を日本語でメモしておく。トピックはパラグラフの第1文で示されることが多い。それらが設問の対象になる可能性も高い。

問題別・合格のための実践講座

2024年度 経済・経営・人文・法・薬学部問題
2月9日(金)実施

時間効率を最優先しながらも、文章全体の流れを常に意識する！

大問1のような長文を35分程度で処理するために以下のような方法がお勧め。

①まず、本文を読み進めながら、下線部(ア)、空所(a)などの問題に解答し、段落毎の topic を日本語でよいかから問題用紙の余白にメモしておく。空所(e)まで解答し終えて全文の内容を一通り頭に入れる。

②次に、4)の本文の内容に合致するものを選ぶ問題と5)のタイトルを選ぶ問題に解答する。その際に、読みながらメモした各段落の topic を参考にする。

原則としては、1)～3)の部分毎で解答できるものを先に処理し、全体の内容を把握した上で、4)・5)に取り掛かる！

受験生の盲点『名詞の副詞的用法』を理解しよう！

2

9) The baseball bat is mine.

① five inches as long as

② five inches longer than

③ more five inches than

④ longer five inches than

正解② 「この野球バットは私のバットより5インチ分だけ長い。」 この five inches(one inch = 2.54cm)は形容詞 long の比較級 longer を修飾しており、文法的には『名詞の副詞的用法』と呼ばれる。ex. He arrived half an hour early. 「彼は30分早く到着した。」 half an hour が副詞 early を修飾している。 The baby was born three months after he died. 「その赤ん坊は彼が亡くなった3ヶ月後に生まれた。」 three months が接続詞 after 以下を修飾している。 She is standing three meters in front of a large mirror. 「彼女は大きな鏡の3メートル前に立っている。」 three meters が前置詞句 in front of 以下を修飾している。これらの例が示すように、『名詞の副詞的用法』は『程度』を表す。

1の長文中にも同様の用法が見られる。

- ・第1段落第1文 About seven years ago 「約7年前に」 About seven years が副詞 ago を修飾している。
- ・第3段落第1文 a couple of years ago 「2, 3年前に」 a couple of years が副詞 ago を修飾している。
- ・第6段落第1文 I would take these studies one step further to argue that ~ 「私はこれらの研究をもう一步進めて~と主張したい」 one step が副詞 far の比較級 further を修飾している。

『surprise・exciteの仲間』の語法をマスターしよう！

これは正式な文法用語ではなく、道久の造語！

- ・「<人>を驚かせる, びっくりさせる」 surprise, astonish, amaze, astound, startle
- ・「<人>を興奮させる, わくわくさせる」 excite, thrill
- ・「<人>を喜ばせる」 please, delight
- ・「<人>を恐がらせる, 怯えさせる」 scare, frighten, terrify, horrify, threaten, intimidate, menace
- ・「<人>を戸惑わせる, 困惑させる」 perplex, bewilder, baffle, puzzle, confuse
- ・「<人>をがっかりさせる, 失望させる」 disappoint, dissatisfy, frustrate
- ・「<人>を意気消沈させる」 depress, dispirit, discourage
- ・「<人>を退屈させる」 bore, weary
- ・「<人>に興味を持たせる, <人>の関心を惹く」 interest, intrigue
- ・「<人>をうっとりさせる, 魅了する」 charm, enchant, fascinate
- ・「<人>にショックを与える, <人>を動転させる, 狼狽させる」 shock, appall, disturb, upset, alarm, dismay, stun, stagger
- ・「<人>を面白がらせる, 楽しませる」 amuse, entertain, divert
- ・「<人>を苛立たせる, うるさがらせる」 annoy, irritate, vex
- ・「<人>に恥ずかしい思いをさせる」 embarrass, abash
- ・「<人>を怒らせる, 不快にさせる」 displease, offend, madden, outrage
- ・「<人>に嫌悪感を催させる」 disgust, sicken
- ・「<人>を悲しませる」 sadden, distress, grieve
- ・「<人>を励ます, 元気付ける」 cheer, encourage, comfort, inspire, inspirit
- ・「<人>をなだめる, 落ち着かせる」 soothe, calm
- ・「<人>に確信させる, <人>を納得させる」 convince, persuade, assure
- ・「<人>を感動させる」 move, touch, stir
- ・「<人>をくつろがせる, ゆったりした気分させる」 relax
- ・「<人>を安心させる, ほっとさせる」 relieve
- ・「<人>の幻想を捨てさせる, <人>を幻滅させる」 disillusion
- ・「<人>を疲れさせる」 tire, fatigue, exhaust

*これらの動詞に共通する特徴

①元来は, <人>を目的語に取る他動詞であり, 「<人>に**ある感情**を起こさせる」という意味を有する。

②~ing形で用いられる場合には, 「<人>に**ある感情**を起こさせるような」という意味を根底に持つ, <人>や<物事>の『性質』を表す形容詞になる。

ex. an exciting baseball player 「(素晴らしいプレーなどで)観客などをわくわくさせるような野球選手」

③過去分詞形で用いられる場合には、「<人>が**ある感情**にさせられた」という受動態の内容を有するが、日本語ではこれを意識して「**ある感情**になっている」と解釈し、<人>の『感情』を表す形容詞になる。

ex. an excited baseball player 「(自分のチームの劇的な勝利などで)興奮している野球選手」

今回取り上げた問題の中にも、これらの単語の用法が正解へのポイントとなるものが含まれている！

3

B

1)

A: On TV yesterday, I was shocking to see that such a large amount of food is wasted at

①

most supermarkets in Japan every day.

正解①→ shocked to see

shock は「(人)にショック(or 衝撃)を与える」という意味の他動詞なので、ここでは主語の I の『感情』を表す形容詞として過去分詞の shocked を用いるべき。また、to see は『感情の原因』を表す副詞的用法の不定詞であり、「～して」と訳ばよい。

cf. a shocking event 「(好ましくない意味で)ショッキングな(= ショックを与えるような)出来事」 shocking は『性質』を表す形容詞。

A: 昨日のテレビで、毎日日本のほとんどのスーパーであれほど大量の食品が無駄に廃棄されるとわかってショックを受けたよ。

最後に、米国 19 世紀の作家である **Mark Twain** の名言をしっかりと肝に銘じよう！

The secret of getting ahead is getting started. The secret of getting started is breaking your complex, overwhelming tasks into small, manageable tasks, and then starting on the first one.

「前進する秘訣は、始めることである。始める秘訣は、複雑で圧倒されそうな仕事を、細かく処理しやすい仕事に分割して、それから、その最初の仕事に取り掛かることなのだ。」

2024年度 松山大学

一般入試

経済・経営・人文・法・薬学部問題

2月9日(金)実施

解答・解説

1

1)

(A) 正解④ scientific /saɪəntɪfɪk/

① influential /ɪnfluəntʃəl/

② energetic /enərdʒɛtɪk/

③ fundamental /fʌndəməntəl/

④ magnificent /mægnɪfɪsənt/

④のみ第2音節，その他は第3音節にアクセントが置かれる。

(B) 正解② photography /fə'tɒ(:)grəfi/

① biology /baɪɒ(:)lədʒi/

② comfortable /kʌmfərtəbl/

③ original /ə'ɪdʒɪnəl/

④ significant /sɪgnɪfɪkənt/

②のみ第1音節，その他は第2音節にアクセントが置かれる。

2)

(a) 正解① waste + <時間・金額など> + on ~ 「<時間・金額など>を～に浪費する，無駄遣いする」

(b) 正解④ 直前部分が Most scientific studies on adulthood = S, focus = V という文(= sentence)となっているので，suggesting という分詞構文が適切。この分詞構文は『付帯状況』を表し，接続詞を用いて書き換えると，~, and suggest ... となる。この suggest は「～を示唆(or 暗示)する」という意味の他動詞。

(c) 正解③ この do は直後の suggest を強める『強意』の助動詞。suggest の主語が A few recent studies なので does ではなく do を用いる。

(d) 正解① 直後に scientists and the general public という A and B の形があるので，both が

適切。この both は副詞であり， both A and B で「A も B も両方とも」という意味。

(e) **正解③** 前後の意味的つながりから『逆接』の接続詞 but が適切。

3)

(ア) **正解③** 「私が用いる色は全く的外れだった」この off は「正しくない，はずれて」という意味の副詞。ex. Your calculations could be way off. 「君の計算は正解には程遠いかもしれない。」従って，③「私は適切な色を用いて絵を描かなかった」が適切。

(イ) **正解①** 「老犬は新しい芸を覚えることができない」これは英語の諺であり，「年老いると新しいことが吸収できにくくなる」という主旨であるので，①「より年配の人々は新たな技能を習得するのにとても苦労する」が適切。

(ウ) **正解③** 「それらのせいで私たちは要領の悪い大人になる」make + O + C 「O を C にする」という構文。この they は直前の the six aspects を指すので，③「それら6つの側面のせいで，大人たちは最良の状態でふるまうことができなくなる」が適切。

(エ) **正解③** 「幼児の学習戦略をもう一度用いることによって」by ~ ing 「~することによって」この by は『手段』を表す前置詞。employ(他)「(方法・技術など)を使う，用いる，利用する」= use, make use of ~ 直後の文において，筆者はドイツ語を学習し始めようとしており，現在，listening and babbling「耳を傾けて幼児のようにそれを繰り返してしゃべる」という段階にあると述べられているので，③「子供たちの状況と同様の状況の下でドイツ語を学習することによって」が正解。

4)

①「筆者はかつて絵を描くのが非常に下手だったので，筆者の友人たちでさえも下手だと言った。」 **正解 第1段落第4文に合致する。**

②「筆者は絵を描くことよりも容易くピアノの演奏に習熟することができた。」 第3段落に合致しない。

③「複数の事柄を同時に学習することは効率的でない。」 第8段落 six aspects の中の6. に合致しない。

④「筆者は子育ての経験から学習するためのより良い方法を見つけた。」 本文中に記述なし。

⑤「何かを学習する際に間違いを犯すのをあまり心配しないことが重要だ。」 **正解 第8段落 six aspects の中の4.に合致する。**

⑥「筆者が研究する際に関心を抱いているのは子供と大人の学習過程である。」 正解 第7段落に合致する。

⑦「筆者はドイツ語を流暢に話せるようになるためにいつも一人で勉強する。」 本文中に記述なし。

5)

①「認知的成長と学習に関して私たちが直面する6つの俗説」

②「新たな技能を学ぶことに関して大人が信じている6つの俗説」

③「新たな言語を学ぶために幼児が使える6つの方式」

④「子供の世話をするために大人が使える6つの方式」

⑤「新たな技能を学ぶことに関して科学者が拒絶する6つの秘訣」

⑥「学ぶことに関して幼児が大人に教えられる6つの秘訣」 正解 第8段落において **six aspects** が提示されており、これらは幼い学習者がとても効率的に学ぶ手助けをしてくれるものであり、大人もそれらを学習に取り入れるべきだというのがこの文章の主旨であるから、この選択肢が適切。

2

1) 正解①「全ての国民はその国の法律を守らなければならない。」 obey(他)「(命令・規則など)に従う、～を遵守する」 are required to 原形は require + <人> + to 原形「<人>に～するように命じる、要求する」を受動態にしたものだが、一種の慣用表現として「～しなければならない、～するべきだ」と訳せばよい。

2) 正解③「供託金は、行事が終了した約3～5日後に払い戻されることになっている。」この after 以下は『時』の副詞節であり、その節中では未来の内容を現在形で、未来完了の内容を現在完了形で表す。

3) 正解②「私の自転車は、ブレーキがうまく利いていないので、修理する(or される)必要がある。」 S + need ~ing「Sは～する(or される)必要がある」この用法においてSは動名詞の意味上の目的語となっている。また、この内容を不定詞を用いて書き換えると、S + need to be + 過去分詞となる。従って、問題文は My bike needs to be repaired because . . . と

書き換えられる。

4) **正解①**「今夜彼女が私たちと一緒にそのパーティーに来ておかまいませんか。」 mind ~ing「~するのを気にする, 嫌がる」ここでは動名詞の前に意味上の主語である her が用いられている。

5) **正解④**「私は子供の頃に遊んだその公園を訪れた。」 the park と以下の部分をつないで文にすると, I used to play in the park as a child.となり, the park は前置詞 in を伴って副詞句として自動詞 play を修飾しているのので, 場所を先行詞とする関係副詞 where が適切。この where の代わりに in which を用いることもできる。

6) **正解①**「私の母はそのケーキを3等分して, 私はその中の3分の2を食べた。」 分数は英語で分子→分母の順番に, 且つ, 分子は基数(普通の数字)で, 分母は序数(第何番目を表す数字)で表す。また, 分子が複数である場合には分母の序数が複数形になる。

7) **正解④**「このドレスに使われている生地は柔らかい綿である。」 この used は The material を修飾する形容詞的用法の過去分詞。

8) **正解②** 「彼女は彼に対して腹を立てていたというよりも, むしろ彼の振る舞いに失望していたのだ。」 not A so much as B「AというよりもむしろB」= not so much A as B A と B には同じ品詞, 或いは, 同じ形の語句が用いられる。

9) **正解②** 「この野球バットは私のバットより5インチ分だけ長い。」 この five inches(one inch = 2.54cm)は形容詞 long の比較級 longer を修飾しており, 文法的には『名詞の副詞的用法』と呼ばれる。ex. He arrived half an hour early.「彼は30分早く到着した。」 half an hour が副詞 early を修飾している。The baby was born three months after he died.「その赤ん坊は彼が亡くなった3ヶ月後に生まれた。」 three months が接続詞 after 以下を修飾している。She is standing three meters in front of a large mirror.「彼女は大きな鏡の3メートル前に立っている。」 three meters が前置詞句 in front of 以下を修飾している。

10) **正解②**「彼は腕を組んで戸口に立ち, 誰もその部屋に入れようとしなかった。」 この with は with + O + C「OがCの状態」という形で用いられ,『付帯状況』を表す。ここでは his arms が O であり, cross は「(腕・脚など)を組み合わせる」という意味の他動詞であるから,「彼の(両)腕が組み合わされる」という受動態の内容を汲み取って過去分詞の crossed を用いるのが適切。

11) **正解②**「もし私がスーパーヒーローであるならば, 自分の力を使って不正義と戦うだろうに。」 前半部分は仮定法過去の条件節で接続詞の if が省略された形であり, if を用いて

書き換えると If I were a superhero, となる。一般に、仮定法の条件節で接続詞の if が省略されると、疑問文と同じ語順に倒置される。

1 2) 正解① 「私は貴重な古い茶碗を持っていたが、引っ越しの間にそれをなくしてしまった。」ここでは「特定のその茶碗」を指すので代名詞 it を用いるのが適切。cf. I have lost the precious cup and have to buy one. 「私はその貴重な茶碗をなくしてしまい、(別の)茶碗をかわなくてはならない。」ここでは「不特定のある茶碗」という意味なので代名詞 one が用いられている。

1 3) 正解④ 「私たちは間もなく工業(or 応用)技術においてその会社に追いつくだろう。」
catch up with ~ 「~に追いつく」

1 4) 正解③ 「毎年その慈善事業に寄付するとはあなたはとても思いやりがありますね。」
通例、不定詞の意味上の主語は for ~ で表すが、It is + <人> の性質・性格・態度などの形容詞 + to 原形という構文においては to 原形の直前に of + <人> が用いられる。また、この構文は <人> を主語にして You are very kind to donate と書き換えることができる。

1 5) 正解① 「その山にたくさんの雪が積もっているのが見えるので、私たちは間もなく寒い冬がやって来るだろうと思う。」この Seeing . . . は『理由』を表す能動態の分詞構文であり、接続詞を用いて書き換えると Since we see a lot of snow on the mountain, となる。

3

A

1) 正解⑥・③【完成文】 Three students have been added to the attendance list.

have been added to . . . は add + O + to ~ 「O を ~ に付け加える」を受動態にしたもの。

2) 正解①・⑤【完成文】 They might decline the offer, in which case we will negotiate.

この which は case を修飾する非制限用法の関係形容詞であり、接続詞を用いて書き換えると ~, and in that case we will negotiate. となる。

3) 正解③・⑥【完成文】 In spite of the rain, the event was successful.

in spite of ~ 「~にも拘わらず」 = despite(前)

4) 正解⑤・⑥【完成文】 Tobe Zoo is not so far from where we are now.

be far from ~ 「~から遠い」 where は関係副詞であり、直前に先行詞の the place が省略さ

れている。

5) 正解⑥・①【完成文】 She said she could smell something burning in the kitchen.

この smell は『知覚(or 感覚)動詞』の一種であり, smell + O + ~ing 「O が~している臭いを嗅ぐ」という用法。この~ing は目的格補語となる現在分詞。

B

1) 正解①→ shocked to see

shock は「(人)にショック(or 衝撃)を与える」という意味の他動詞なので, ここでは主語の I の『感情』を表す形容詞として過去分詞の shocked を用いるべき。また, to see は『感情の原因』を表す副詞的用法の不定詞であり, 「~して」と訳ばよい。cf. a shocking event 「(好ましくない意味で)ショッキングな(= ショックを与えるような)出来事」 shocking は『性質』を表す形容詞。

A: 昨日のテレビで, 毎日日本のほとんどのスーパーであれほど大量の食品が無駄に廃棄されるとわかってショックを受けたよ。

B: ええ, それは深刻な問題ね。食品の無駄な廃棄を減らすための良い考えを思い付ける?

A: まず, 僕たちのような消費者が習慣を変えてはどうか。僕たちは古い商品を買わずにおいて, 棚にある最新のものを選びがちでしょ。

B: あー, そうよね。一番古いものを最初に選ぶ習慣をつけるべきよ。

2) 正解③→ both gave it up

この give up のように他動詞 + up, down, on, off, in, away, over などの副詞で動詞句を形成する際に, 名詞が目的語の場合には give up + O, give + O + up という両方の語順が可能だが, ここでのように代名詞が目的語の場合には give + O + up という語順のみ可能となる。

A: これ誰かわかる? 今の僕と同じ年頃の僕の父なんだ。

B: わあ, お父さんは君にそっくりだね。

A: うん, それに, 僕たちは若い頃弁護士になるという同じ目標を持っていたんだけど, 父も僕もその目標を断念したんだ。

B: それっておかしいね。古い諺にある通り, この父にしてこの息子あり, だよ。

3) 正解③→ I'm good at finding

B は最後の発言で A に一緒に買い物に行ってくれるように頼み, 贅沢なブランド品を買うだ

けのお金がないと言っているので、Aはブランド品ではないが良質な衣類を見つけるのが得意でないと会話が成立しない。

A: 衣類の買い物をする際に、あなたはブランドを気にしますか？

B: ええ、ある程度はね。ブランド品は品質が保証されているでしょ。あなたはどうですか。

A: いえ、それ程気にしません。私にとっては、値段が一番重要です。ブランド品ではないけど良質な衣類を見つけるのが得意なんですよ。

B: あら、本当ですか？。それでは、次の週末に私と一緒に衣類の買い物に行ってください。新しい春物のコートを買いたいんですが、贅沢なブランド品を買える程のお金を持っていないんですよ。

4) 正解④→ for the first time in two years

Aが医者でBという患者を診察している場面。AがBの腕と膝が痛む原因を尋ねているので、Bの回答として「2年ぶりにテニスをした」でないと会話が成立しない。 for the first time in +<期間> 「<期間>ぶりに」 ex. I met her for the first time in ages. 「私は久しぶりに彼女に会った。」

A: 今日はどうされましたか？

B: 動くたびに腕と膝が痛むんです。

A: わかりました、診せて下さい。どうぞここにお座りください。何が原因かわかりますか？

B: 昨日、2年ぶりにテニスをしたんです。

5) 正解④→ I cannot afford to pay

AもBも電気料金を含む最近の生活費が非常に高いという認識を持っており、Bは最後の発言でもう既に電気料金が高すぎると述べているので、「～の支払いをする余裕がない」でないと会話が成立しない。

A: この頃の生活費はものすごく高いですね。

B: 今度の電気料金の新たな値上げについて聞きましたか？

A: ええ、聞きましたよ。夏の電気料金が高かったけど、更に酷くなるだろうと言われてますね。

B: もう既に高すぎるのだから、この冬になると私は電気料金の支払いをする余裕がありませんね。